

平成 27 年度 新宿駅周辺防災対策協議会
新宿駅西口地域地震防災訓練 実施概要

1. 訓練の目的

新宿駅西口地域における総合防災訓練として、参加者がセミナー、講習会等で身につけた災害対応能力を活かし、事業所（ビル）や地域で災害対応活動を総合的に実践できるようにすることを目的とする。

2. 訓練の概要

表 1 に新宿駅西口地域地震防災訓練の概要を、図 1 に訓練全体のコンセプトを示す。本訓練は、東京都区部でマグニチュード 7.3 の地震が発生した想定のもと、超高層テナントビル内における発災直後の場面と、超高層ビルに加えて緊急医療救護所（仮）や西口現地本部を中心とする西口地域内および駅周辺の関係機関における発災後数時間が経過した初動対応の場面をそれぞれ設定し、3つの訓練（自衛消防訓練（震災対応訓練）、医療救護訓練、西口現地本部訓練）を並行して実施する。

表 1 新宿駅西口地域地震防災訓練の概要

訓練名称	平成 27 年度 新宿駅周辺防災対策協議会 新宿駅西口地域地震防災訓練
実施日時	平成 27 年 11 月 5 日（木） 13:30～17:00
主会場	工学院大学新宿キャンパス
訓練種別	自衛消防訓練（震災対応訓練）、医療救護訓練、西口現地本部訓練
事業所参加者数	110名程度（予定）
主催	新宿駅周辺防災対策協議会

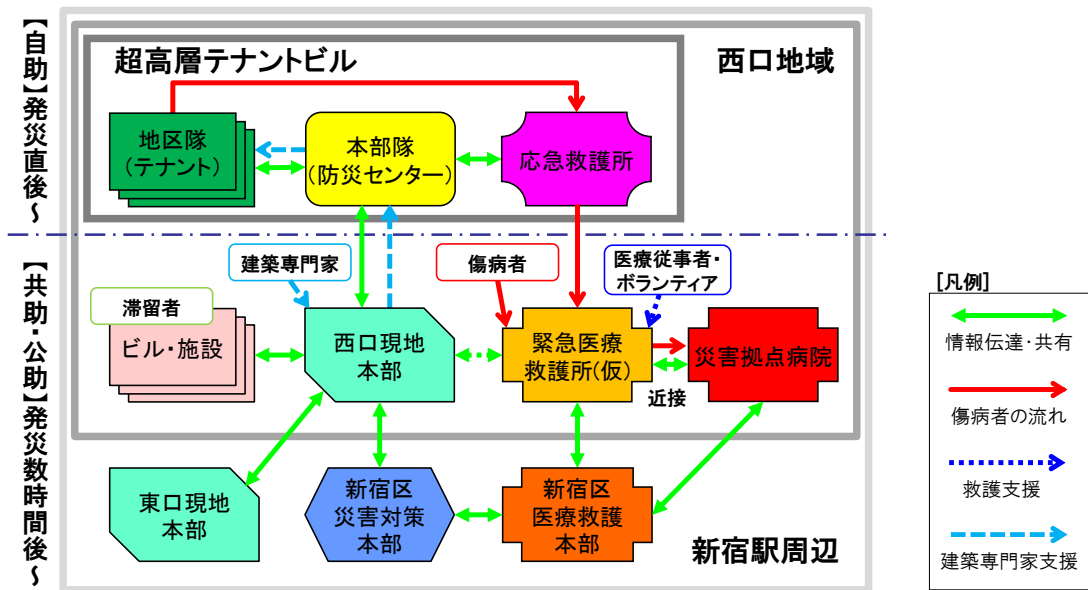


図 1 平成 27 年度 新宿駅西口地域地震防災訓練のコンセプト

3. 訓練までの日程

(1) 訓練参加申込

申込期間：平成27年9月24日（木）～10月15日（木）（締め切り厳守でお願いします）

※別紙「参加確認票」にご記入のうえFAXかメールにて事務局までお申し込みください。

(2) 講習会（事前研修）

訓練で実践する災害対応活動に必要な知識や技術を身につけるため、訓練内容や地域特性に応じたテーマごとに実施します。総合防災訓練の効果を高めるためにも是非ご参加ください。

※各講習会の詳細および参加申込については別途事務局よりご案内しています。

・西口現地本部運営シミュレーション訓練

日時：平成27年9月30日（水） 13:30～17:00

会場：工学院大学新宿キャンパス 高層棟28階 第1・第2会議室

主に対象とする訓練：西口現地本部訓練

・災害医療研修会（医療従事者対象）

日時：平成27年10月1日（木） 19:30～21:10

会場：新宿区立教育センター5階 大研修室（新宿コズミックセンター内）

主に対象とする訓練：医療救護訓練

・建物被害対応の実践トレーニング

日時：平成27年10月8日（木） 14:00～17:00

会場：工学院大学新宿キャンパス 高層棟3階 アーバンテックホール

主に対象とする訓練：自衛消防訓練

・応急救護講習会

日時：平成27年10月15日（木） 11:00～17:00

会場：日本赤十字社東京都支部 2階 大会議室

主に対象とする訓練：自衛消防訓練、医療救護訓練

・自衛消防組織による震災対応活動講習会

日時：平成27年10月29日（木） 14:00～17:00（予定）

会場：工学院大学新宿キャンパス 高層棟28階 第1・第2会議室

主に対象とする訓練：自衛消防訓練

(3) 訓練参加者説明会（第3回西口地域部会）

日時：平成27年10月30日（金） 14:30～17:00

会場：工学院大学新宿キャンパス 高層棟28階 第1・第2会議室

※訓練の詳細および参加者の役割分担を確認するため、訓練参加者は必ずご出席ください。

(4) 新宿駅西口地域地震防災訓練

日時：平成27年11月5日（木） 13:30～17:00

主会場：工学院大学新宿キャンパス

4. 各訓練の実施概要

(1) 自衛消防訓練（震災対応訓練）

図2に自衛消防訓練のコンセプトを、表2に訓練の流れを示す。自衛消防訓練は、超高層テナントビルを想定した総合的な震災対応訓練であり、自衛消防組織による震災対応訓練モデルの構築を目的として実施する。本訓練では、地震発生から1時間を目安とする発災直後の場面と発災数時間後の初動対応の場面を設定し、仮想の28階建て超高層テナントビルにおいて防災センターの本部隊と各テナントの地区隊が連携して災害対応活動を行う。

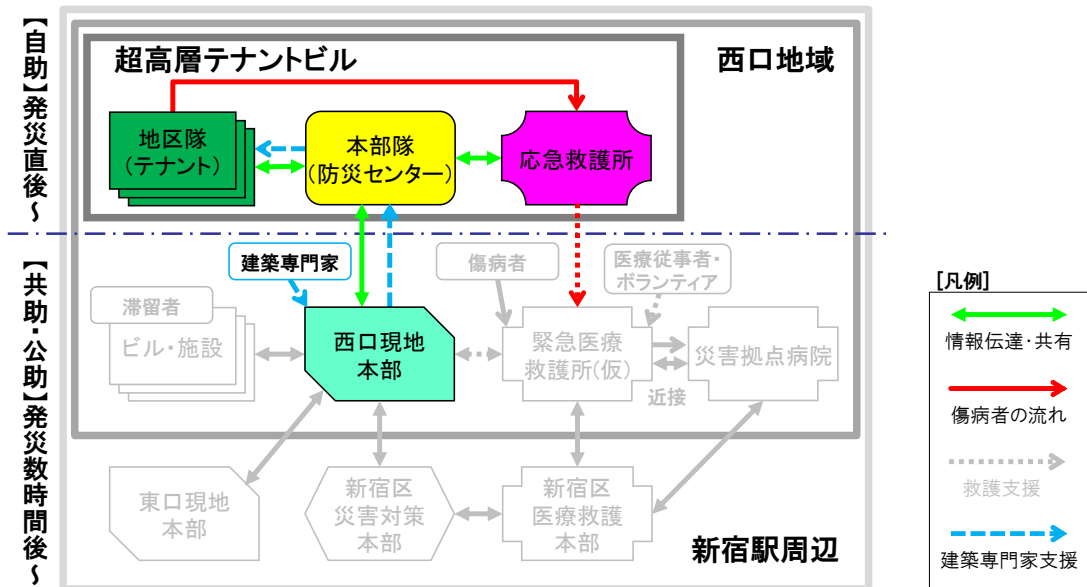


図2 自衛消防訓練（震災対応訓練）のコンセプト

表2 自衛消防訓練（震災対応訓練）の流れ（予定）

時間	内容
13:30	参加者集合
13:30～14:00	出席確認、訓練内容の確認
14:00～14:30	訓練会場へ移動し準備、要素訓練
14:30	訓練前半開始（地震発生）
14:30～15:00 （訓練前半）	<ul style="list-style-type: none"> ・自衛消防隊編成（本部隊・地区隊）、災害対策本部立ち上げ ・火災対応（火災の確認、初期消火）、避難誘導（鎮火確認後、建物内対応） ・閉じ込め者対応（閉じ込め者の確認、救出） ・傷病者対応（傷病者の確認、応急手当、観察記録、応急救護所立ち上げ） ・建物安全確認（外観、モニタリング等）
15:00	訓練前半終了
15:00～15:10	休憩、場面転換
15:10	訓練後半開始（発災数時間後）
15:10～16:00 （訓練後半）	<ul style="list-style-type: none"> ・傷病者対応（情報収集・伝達、搬送） ・建物被害対応（建物被害の確認、記録、情報伝達、即時使用性判定） ・被害情報の把握 ・西口現地本部との情報共有
16:00	訓練後半終了
16:00～16:30	振り返り、講評会場へ移動
16:30～17:00	講評会、アンケート
17:00	訓練終了・解散

(2) 医療救護訓練

図3に医療救護訓練のコンセプトを、表3に訓練の流れを示す。医療救護訓練は、新宿駅西口地域に設置された緊急医療救護所における医療救護活動を想定し、地域の事業者、医療従事者、病院および行政が連携して行う大規模地震災害時の効果的な傷病者対応と情報伝達の実践と仕組みづくりを目的として実施する。本訓練では、地震発生後数時間が経過した初動対応以降の場面を設定し、地域の災害拠点病院の近隣への設置を想定した仮想緊急医療救護所等において災害対応活動を行う。

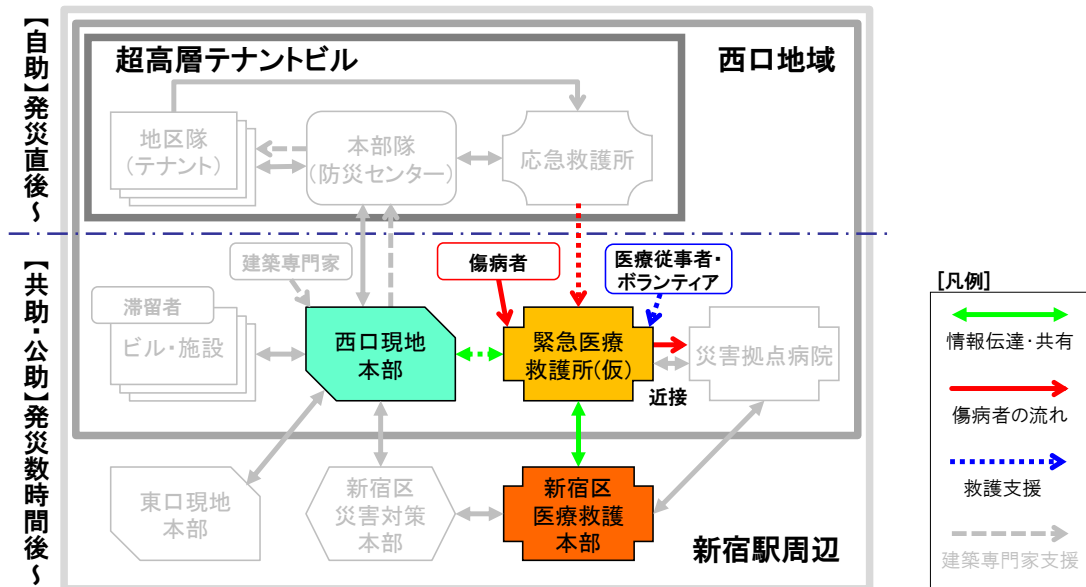


図3 医療救護訓練のコンセプト

表3 医療救護訓練の流れ（予定）

時間	内容
13:30	参加者集合
13:30～14:00	出席確認、訓練内容の確認、傷病者役の演技指導等
14:00～14:40	訓練会場へ移動し準備、傷病者役の演技指導等
14:40	訓練前半開始（発災数時間後）
14:40～15:10 （訓練前半）	<ul style="list-style-type: none"> ・ブリーフィング、仮想緊急医療救護所の立ち上げ ・傷病者の受入れ ・トリアージ、診察、処置、搬送の決定（医療救護班） ・重傷者を優先し近接する仮想災害拠点病院へ向け搬送開始（応急救護班） ・軽傷者を中心に応急手当、観察記録（応急救護班） ・情報収集・伝達、医療救護本部との情報共有（情報連絡班）
15:10	訓練前半終了
15:10～15:30	振り返り、役割交代
15:30	訓練後半開始（発災数時間後）
15:30～16:00 （訓練後半）	訓練前半と同じ
16:00	訓練後半終了
16:00～16:30	振り返り、講評会場へ移動
16:30～17:00	講評会、アンケート
17:00	訓練終了・解散

(3) 西口現地本部訓練

図4に西口現地本部訓練のコンセプトを、表4に訓練の流れを示す。西口現地本部訓練は、西口現地本部を中心に関係機関等との情報連絡やエリア内での情報共有、地域における効果的な災害対応のための意思決定を行い、西口現地本部の役割と現地本部運営のためのマニュアルを検証することを目的として実施する。本訓練では、地震発生後数時間が経過した初動対応以降の場面を設定し、工学院大学新宿キャンパスに設置された西口現地本部において災害対応活動を行う。

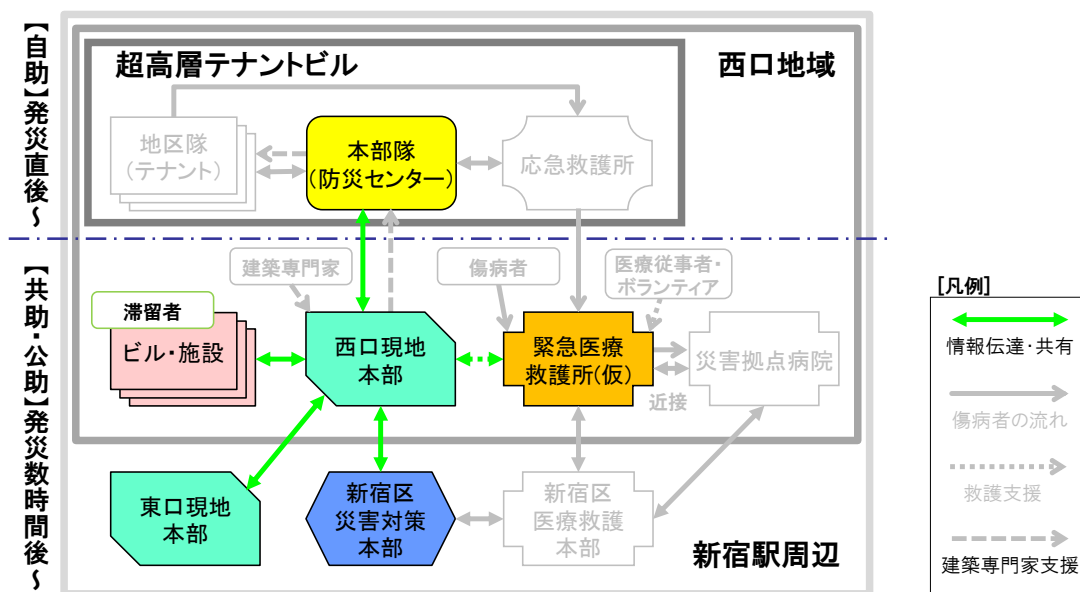


図4 西口現地本部訓練のコンセプト

表4 西口現地本部訓練の流れ (予定)

時間	内容
13:30	参加者集合
13:30~14:00	出席確認、訓練内容の確認
14:00~14:40	訓練会場へ移動し準備、要素訓練
14:40	訓練前半開始 (発災数時間後)
14:40~15:10 (訓練前半)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現地本部の立ち上げ・開設 ・ 地域内のビル・施設や関係機関との通信・情報共有 ・ 滞留者への情報提供
15:10	訓練前半終了
15:10~15:30	振り返り
15:30	訓練後半開始 (発災数時間後)
15:30~16:00 (訓練後半)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の災害情報集約・伝達 ・ 一時滞在施設への滞留者誘導 ・ その他、地域の支援
16:00	訓練後半終了
16:00~16:30	振り返り、講評会場へ移動
16:30~17:00	講評会、アンケート
17:00	訓練終了・解散

5. 予定参加者数

表5に訓練種別ごとの事業所参加者の役割および予定人数を示す。

表5 訓練種別ごとの事業所参加者の役割と予定人数

訓練種別			予定人数
① 自衛消防訓練（震災対応訓練）			
	役割	主な活動内容	予定人数
業 所 （ テ ナ ン ト 事 業 所）	地区隊長	指揮調整	20名程度
	通報連絡班	情報収集、集約、伝達	
	初期消火班	火災発見、通報、初期消火	
	避難誘導班	避難誘導	
	安全防護班	建物被害の確認、記録、伝達	
	応急救護班	傷病者の応急手当、観察、搬送	40名程度
I ・ 応 急 救 護 所 （ 防 災 セ ン タ ）	隊長	指揮調整	10名程度
	通報連絡班	情報収集、集約、伝達	
	初期消火班	発報確認、通報、鎮火確認	
	避難誘導班	避難誘導支援	
	安全防護班	建物情報集約、調査、即時使用性判定	
	応急救護班	応急救護所設置、傷病者情報集約	
	傷病者役	演技、救護体験	10名程度
② 医療救護訓練			
	役割	主な活動内容	予定人数
	情報連絡班	緊急医療救護所の情報収集、伝達	10名程度
	応急救護班	傷病者の応急手当、観察、搬送	20名程度
	傷病者役	演技、救護体験	30名程度
③ 西口現地本部訓練			
	役割	主な活動内容	
	本部長、副本部長	指揮調整	
	情報収集・発信班	情報収集および関係機関への情報発信	10名程度
	情報整理・集約班	ホワイトボード等による情報の整理、集約	
	情報共有班	GIS、地図等を用いた情報共有	
	運営支援班	現地本部運営および地域の支援	
合計			110名程度

以上